

# 校内研だよ



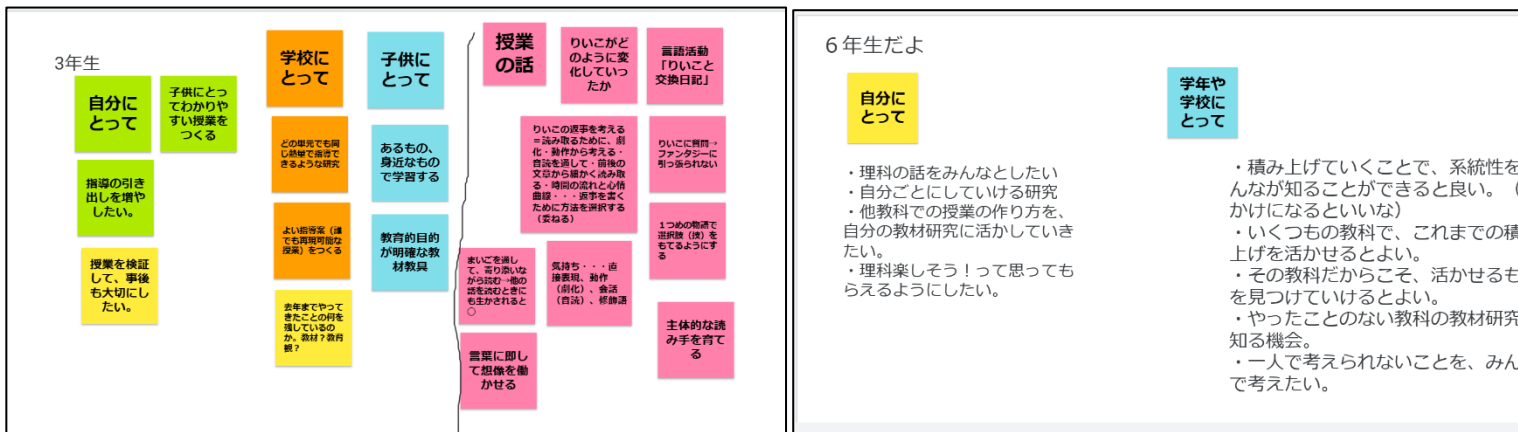
令和6年4月19日(金)  
研究推進部  
No.3

## 1 第1回校内研究会を終えて

### (1) 校内研の在り方

☆対話①「どんな校内研にしたいですか？」

アイスブレイクを経て、和やかな雰囲気でお話スタート。シャムボードで互いの校内研への思いを対話しました。「自分」「学年・学校」「子供たち」。多様な視点から校内研究について考えると、パーパス(目的・志)や具体的な方法、校内研の在り方にまで、皆さんの考えが深くなる様子が見えました。この問いに答えはありません。自分なりの答えを追究できるような校内研究にしてもらえれば、と思います。



## (2) 研究の柱

### ①問題解決的な学習の展開

◎問題解決的な学習…子供が問題意識をもち、主体的に調べたり考えたりして、知識や能力を身に付ける学習

○つかむ

- ・「事実」「疑問」(学習問題)「見通し」(学習計画)をつかむ。

例えば、社会科なら…

○調べる

- ・学習問題を解決するための「事実」を調べる。
- ・資料(教科書、資料集、D教科書、クロームブックなど)を使って調べる。
- ・校外に見学(観察や調査)に行き調べる。
- ・調べた事実を基に考える、交流する。

他の教科ならば、どのように展開するでしょうか？

○まとめる

- ・調べた事実を可視化(図や作品など)する。
- ・学習問題に対して、「事実」と「考え(事実に対する意見)」をまとめる。

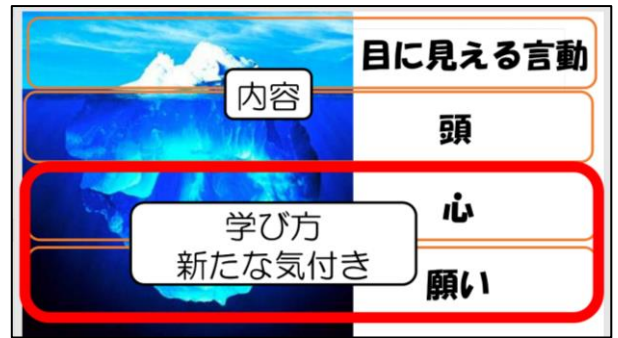
○つなぐ

- ・学んだことを生かして、より良い社会について、考える、話し合う。

## ②委ねる時間の確保

○「委ねる」って？

- ・自由にする× → **選択する○**
- ・教師の出所の吟味
- ・委ねる内容 「活動」「資料」「問い」「方法」など



## ③振り返りの横断的な活用

- ①知った事実について「分かったこと」  
 ②知った事実について「分からなかったこと」  
 ③事実を知った上で「考えたこと」

- ④自分の学びのプロセス  
 ⑤心で感じたこと（ワクワクした、つまらなかった、など。）

### ～ 振り返りの問い ver1.0 ～

☆今回の学びについて自分は…

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ①何が分かったか    | ⑥どうしたかったか      |
| ②何が分からなかったか | ⑦次どうすればよいか     |
| ③何を考えたか     | ⑧別の方法はなかったのか   |
| ④どう学んだか     | ⑨そもそもどういうことなのか |
| ⑤どう感じたか     |                |

感想ではなく、次の自分の学びにつながるように自分と向き合しましょう！



- ⑥その時間にやったことを基に本当は「どうしたかったか。」  
 ⑦⑥を基に「どうすればよいか。」

- ⑧⑨授業の前提や枠組みがどうであったか。

### ☆感想☆

☆次の学びに生かせるように。

☆他教科等や、行事等でも使えるように。

☆各学年で使いそうなものを選んだり、付け足したりする。

データは、研究のフォルダに入れておきます。ご活用ください！

## ④ファシリテーターの育成

○ファシリテーターって？

- ・司会者 … 「時間を管理する」「場の進行をさせる」など
- ・ファシリテーター … 「雰囲気をつくる」「活性化させる」「道筋を示す」など

### ～ ファシリテーターの心得 ～

- その1 「何をするのか」よりも「どうあるとよいか」を大切に！  
 その2 「問い」からズレないように話を戻す！  
 その3 ヒマそうな人や話していない人が楽しく話せるように声をかける！  
 その4 目を見て話したり聴いたりする！

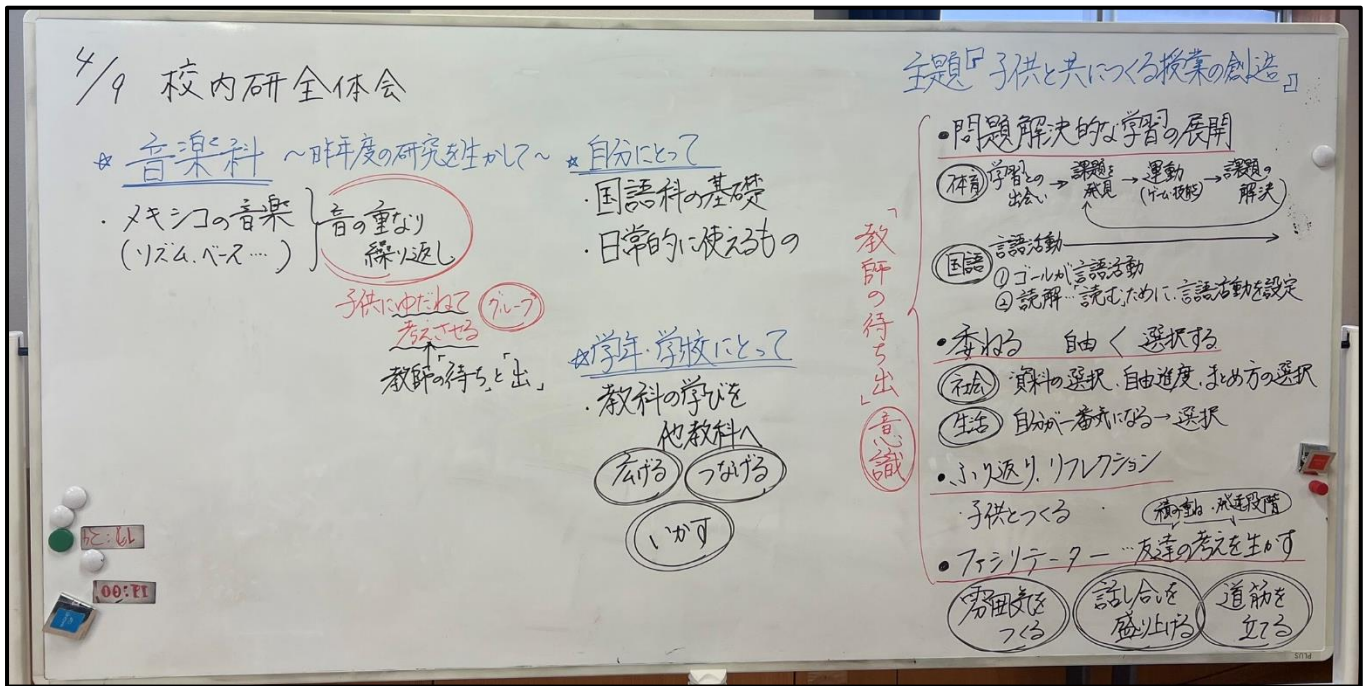
「話すこと」自体が楽しくなる場になるようにヨロシク！



## ☆対話②授業検討

今年度は、昨年度の研究の成果を生かして、他教科等に研究を広げていきます。他教科等でいかに「子供に授業を委ねる」ことができるか、「教師の待ちと出」をどのように発揮するか、が大きな鍵になります。昨年度までの学びはあるものの、教科等が変われば、教科等の特性も変わり、授業検討も簡単ではありません。そんな中、授業づくりを楽しみながら対話をする皆さんの様子を、とても頼もしく見ていました。





○リフレクション

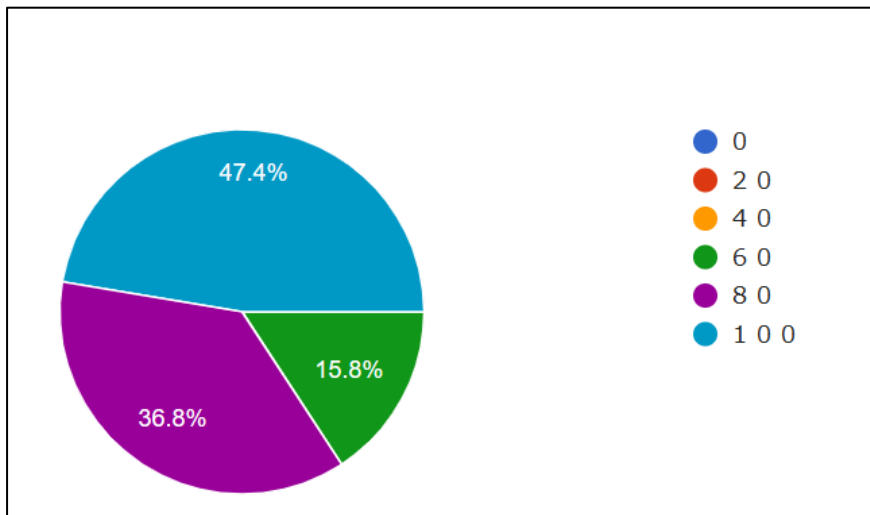
① 今年度の校内研究で学びたいことは何ですか？

- 日々の授業での引き出しを増やす。
- 低学年の話し合い、振り返りの仕方。低学年に委ねるとは。
- 国語の委ねる学習について。
- 教師の待ちと出。
- 各教科の授業における問いのもたせ方。
- 「委ねる」ことへの理解を深め、実践につなげていきたいです。「委ねる」ことは、自己調整型の学習の実践において、大切になると考えます。
- 教師の待ちと出。他教科について知り、教科が繋がっていくような学びをしたいです。
- 委ね方 昨年度の成果を今年度どう生かせるのか 低学年でのファシリテーターの育成
- まず、去年の社会科の全国大会を経験してきた先生方などが多くいるこの小金井第一小学校で授業づくりについて対話を通して学んでいけることが非常に楽しみです。その中で自分自身としては、教科や学年等に縛られず、授業づくりについて学んでいきたいです。初任として、いろいろなやり方や考え方に触れていき成長できるように頑張っていきます。
- 昨年度の研究に参加できなかったので、昨年の研究の5つの柱についてもう少し深く学びたいです。また、他教科でも活用していけるように、授業で使った教材や内容について気軽に情報の共有ができればありがたいです。
- 昨年度の研究を理解した上で、他教科への広げ方
- 様々な教科の基礎・基本
- 様々な教科の教科指導から、自身の指導教科に生かせることを吸収したいです。
- 各教科において大切なポイントについて
- 子供が主体の授業を行う方法
- ファシリテーターの育成
- ファシリテーターを生かした学び、子供主体の学び
- 昨年度の校内研究で学んだことを他教科に生かせる方法や実践について

先生方それぞれの課題意識から、学びたいことも変わっていきます。皆さんの学びが実現できるように、校内研究の場づくりを頑張ります！



② 今年度の校内研究の期待度は？



- 自由度が高くて楽しそうだけれど、具体的な流れ？内容？がまだわからないから
- 短い期間ですが、学べることを学びたいと思います。
- 数値化は難しいので、半分くらい。
- 一方向に向かわない分、まとまらなさそうであり、楽しそうであるから
- 他の教科を学べるから。
- とにかく期待しています！
- 第1回目が楽しかったからです。昨年度の社会科・生活科で学んだことを生かして、他教科に繋げていけることや、様々な教科を知れることにワクワクしています。
- 話し合いができる児童が多いので、様々な教科でも生かしていきたいと思ったから。
- とても雰囲気の良い学校で対話をしながら校内研究を進めることができることが今日の会で伝わりました。話しづらいこともなく先生方も意見を積極的に出したり、聞いたりしてくれました。そのため、今年度の校内研究は期待しています。よろしくお願いします。
- 初めての専科で、少し不安な面があるのと、自分自身、健康面でこれまでのようにできないところがあるからです。ですが、初心にかえったつもりでチャレンジしていきたいと思います。
- 指導力や情熱のある先生が多いから
- 1つの教科以外のことが学べるから
- 教科が広がったことへの期待と、それにより視点が広がってぼやけてしまわないかの不安。
- 新しいことがたくさんできそうだからです。
- 他教科の授業、専科の先生の授業実践から学べるから。
- 研究全体会を通して、前年度の研究がよくわかりました。楽しみな半面、不安もあります。
- 現在の授業力に自信がなく、今後身に付けていきたいと考えているから。
- 様々な教科で研究を進めるので、どんな学びができるのが楽しみです。
- また、新しいことを学べると思うとワクワクするから。

第1回の研究全体会ありがとうございました。リフレクションでは、一小的研究の雰囲気の良さを感じ、これからの学びへの期待を感じた先生方が多かったようです。一方で、研究が他教科等へ広がったことへの不安を感じる方もいました。不安を払しょくし、皆さんが楽しく学べるように、研究を進めていきます。授業づくりで困ったことがあれば、いつでも主任にお声がけください。皆さんの期待に応えられるように頑張っていきます。一年間、どうぞよろしくお願いします。